

JAPIO

(c) 2005 JPO & JAPIO. All rights reserved.

01418612 **Image available**

PREPARATION OF MAGNETIC PLASTER

Pub. No.: 59-130212 [JP 59130212 A]

Published: July 26, 1984 (19840726)

Inventor: ARAI SHINZO

Applicant: ARAI SHINZO [000000] (An Individual), JP (Japan)

Application No.: 58-004792 [JP 834792]

Filed: January 14, 1983 (19830114)

International Class: [3] A61K-009/70; A61N-001/42

JAPIO Class: 14.4 (ORGANIC CHEMISTRY -- Medicine); 28.2 (SANITATION -- Medical)

JAPIO Keyword: R057 (FIBERS -- Non-woven Fabrics)

Journal: Section: C, Section No. 252, Vol. 08, No. 251, Pg. 110, November 16, 1984 (19841116)

ABSTRACT

PURPOSE: To obtain a magnetic plaster effective to the fatigue of muscle and the stiffness in the shoulders, etc., by the additive effect of a drug component and magnet, by kneading conventional drug such as methyl salicylate, menthol, etc., and ferrite powder, spreading the mixture on a substrate cloth, and magnetizing the coated cloth.

CONSTITUTION: Ferrite powder 1 is kneaded in a drug such as methyl salicylate, menthol, peppermint oil, etc. to obtain a drug 2 containing ferrite powder. The drug 2 is spread on a substrate cloth 3a (e.g. woven cloth, nonwoven cloth, etc.), and the obtained coated cloth 3b is passed through a conventional magnetizing apparatus 4 to magnetize the ferrite powder in the drug to a polarity (N or S) suitable for the purpose. The objective magnetic plaster 3d can be prepared by cutting the coated cloth to a proper size. The plaster is superior to the conventional plaster in the remedying effect by the additional effect of the magnet, and is effective to the mitigation of the fatigue of the muscle, the stiffness of the shoulders, inflammation, pain, etc.

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—130212

⑤ Int. Cl.³

A 61 K 9/70

A 61 N 1/42

識別記号

庁内整理番号

7057—4C

6404—4C

⑬ 公開 昭和59年(1984)7月26日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 磁気はり薬の製造法

船橋市習志野台 4—64—7

⑯ 特 願 昭58—4792

⑰ 出 願 人 新井慎蔵

⑱ 出 願 昭58(1983)1月14日

船橋市習志野台 4—64—7

㉒ 発 明 者 新井慎蔵

㉓ 代 理 人 弁理士 川崎隆夫

明 細 書

1. 発明の名称

磁気はり薬の製造法

2. 特許請求の範囲

周知の製法により、サルチル酸メチル、メントールその他適宜の薬品を混練して、筋肉疲労回復、肩こり治療、消炎、鎮痛その他の治療効果のある周知の薬剤を設ける工程において、該薬剤中にフェライト粉末を添加して薬剤と均質に混練してフェライト粉末入り薬剤を設け、該フェライト粉末入り薬剤を周知の手段によって同じく周知の基布に塗布し、この塗布した基布を周知の層磁機に通して、該基布における各目的位置及び形状の薬剤中のフェライト粉末群を各目的極性に層磁し、層磁処理の済んだ該基布を用途に応じて適宜の大きさに裁断して磁気はり薬を設けるようにした、磁気はり薬の製造法。

3. 発明の詳細な説明

従来、サルチル酸メチル、メントール、ハッカ油、塩酸ジフェンヒドラミン、その他の薬品を混

練した薬剤（バスタ若しくはハップ剤）を通宜の基布（布地、不織布、紙地など）に塗布した、はり薬若しくはしっぶ薬が筋肉疲労回復、肩こり治療、消炎、鎮痛等用として広く用いられている。

一方、近時、磁石の磁気、磁力が人体に対して血行促進その他の保健的効果があるとして、小球状乃至粒子状等の磁石片を接着布等をもって人体の所謂つばに当る部分に当接して用いることなどが行われている。

然し乍ら、上記前者と後者の両効用を有効に併せ保有せしめたものは未だに存在しない。

本発明は上記従来の事情に鑑みてなされたものであり、上記従来のはり薬（若しくはしっぶ薬）に上記磁石の効用を付加して、両者の長を併有せしめた、はり薬（若しくはしっぶ薬）の製造法に係るものである。

即ち、本発明は、周知の製法により、サルチル酸メチル、メントール、ハッカ油、塩酸ジフェンヒドラミン、その他適宜の薬品を混練して、筋肉疲労回復、肩こり治療、消炎、鎮痛その他の治療効

果のある周知の薬剤（ペースト、ハップ剤）を設ける工程において、該薬剤中にフェライト（永久磁石用の強磁性材）粉末１を添加して薬剤と均質に混練してフェライト粉末入り薬剤２を設け、該薬剤２を周知の装置、手段によって、同じく周知の基布（従来と同じ布地、不織布、紙地など）３aに塗布し、次にこのフェライト粉末入り薬剤２を塗布した基布３bを、周知の着磁機４（フェライト等の磁性体の目的箇處に目的極性の着磁を行う帯気装置）に通して、該基布３bにおける各目的位置（範囲）及び形状（円形、方形、帯状など）の薬剤２中のフェライト粉末群を各目的極性（NまたはS）に着磁し、この着磁処理の済んだ基布３cを用途に応じて適宜の大きさ、例えば市販のはり薬の大きさ（80×70mm位）、に裁断して、磁気はり薬（若しくはしっぶ薬）３dを設けるようにしたものである。

上記本発明方法によって製した磁気はり薬（若しくはしっぶ薬）は、使用薬剤は従来と同じであるので、当然に従来と同様の治療効果を奏し得る

- 3 -

磁機、５…皮膚。

ものである上に、該薬剤中に均質に混練したフェライト粉末を目的範囲宛、目的極性に着磁して、いわば薬剤自体を磁石としたものであるので、薬剤と共に皮膚に密着して磁気、磁力による諸効果をも併せて發揮し得て、両者の相乗の効果により、従来にない優れた治療保健的效果をもたらす特長がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明製造法の工程順を示す説明図、第2図は着磁処理を終えたものの一部拡大断面図、第3図の（イ）、（ロ）、（ハ）は基布にフェライト粉末入り薬剤を塗布したものに対する着磁の位置及び形状の実施例図、第4図は（イ）を裁断して製した本発明磁気はり薬の一実施例の平面図、第5図は本発明はり薬の一実施例品を皮膚に粘着した場合の磁界の状態を示す説明図である。

付号、１…フェライト粉末、２…フェライト粉末入り薬剤、３a…基布、３b…薬剤２を塗布した基布、３c…３bに着磁処理を施したもの、３d…３cを裁断して得た本発明はり薬、４…着

- 4 -

出 願 人 新 井 慎 蔵
代 理 人 川 崎 隆



圖 1 第

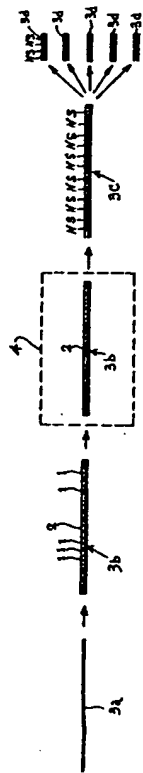


圖 2 集

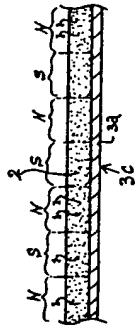
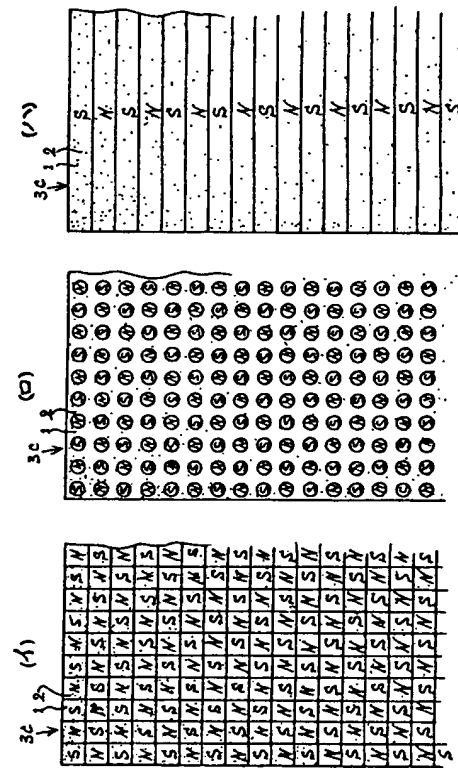
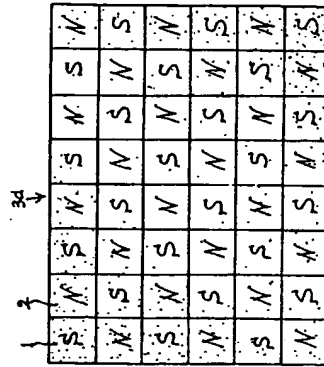


圖
の
概



圖子集



五保

